

平成30年度 山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名 山村活性化支援交付金

2. 事業実施主体名 天川村

3. 事業概要

・事業目的

天川村洞川地区で試験栽培が行われている「四季成りイチゴ」の試験栽培を商業生産規模拡大することで、近畿地方で唯一の四季成りイチゴ産地として育て、地域内外へ商品の供給を行い、地域の新たな特産品として産地化を推進する。これにより、販売額を増やし、栽培面積の拡大に伴う雇用者の増加及び新たな加工品の開発・販売などの雇用も見込まれることから、地域全体の活性化に大きく寄与する。

・事業費・交付額(単位:円) 事業費 35,221,643円 交付額 5,113,213円

・事業実施期間 平成30年4月16日 ～ 平成31年3月31日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

四季成りイチゴの栽培方法についての様々な検討や先進地での研修等を行ったことにより、今後は更なる良品のイチゴ栽培が行えることが期待される。また、四季成りイチゴ栽培地は近畿圏では他になく、付加価値の付いた希少な特産品として販売され、生産者の所得向上に繋がると思われる。

(2) 取組状況

実施計画16項目中、15項目(93%)の実施を確認したため、A評価とする。主な取組は下記のとおり。

○四季成りイチゴ栽培に関する取組

四季成りイチゴの栽培のため、適正な温度管理、液肥濃度の管理、収穫量の記録に努めるなど、今後の栽培のマニュアル化に向けた取組が行われている。今回の取組により、更なる良品の四季成りイチゴの栽培が行えることが期待される。

○販売促進に関する取組

四季成りイチゴの栽培と販売に関する検討会を各関係機関で開催し、販売に関して流通のノウハウを所有している関係機関の協力を得て、様々な販売先候補と商談を行った。今後は希少価値のある夏場のイチゴであるということを軸に、販売額の増加に向け具体的な販売先の決定を行う。

(3) 事業実績

下記のとおり目標値を下回るものもあるが、評価上の達成率を満たしているためB評価とする。

・生産者数は、目標値1人に対し、実績値1人(達成率100%)であり、目標値を達成している。

・収穫量は、目標値342kgに対し、実績値267kg(達成率78%)であったが、収穫量を増加させる栽培方法の再検討を行うことで次年度は収穫量の増加が見込める。また、今年度は猛暑であったため、例年通りの気候であればさらなる収穫量の増加が見込める。

・販売額は、目標値840,000円に対し、実績値341,384円(達成率40%)であったが、今年度は販売促進を行うため、事業者に対しての試食や、村内外へのPRとして学校等に無償提供したこともあり、販売額が減少している。次年度は本格的に販売を開始していくことから販売額の増加が期待できる。

・加工品開発数は、目標値5品に対し、実績値5品(達成率100%)であり、目標を達成している。栽培地の洞川区は観光客が入りが多く、飲食店等も多いため、今後も加工品の品数は増加することが期待される。

(4) 実施体制

事業実施主体は各関係機関と連携し、検討会を年10回開催するなど、取組体制は十分に機能している。

取組体制は機関ごとに役割が決められており、各自がその役割を全うできる状況にあった。検討会の開催により、各自の取組の結果を報告することで、組織全体の情報共有も行われており、今後もこの体制を続けることになると思われる。

(5) その他事項 無し

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標	目標値	実績値	達成率
・ 生産者数	1人	1人	100%
・ イチゴ収穫量	342kg	267kg	78%
・ 販売額	840,000円	341,384円	40%
・ 加工品開発数	5品	5品	100%

(計測方法)

生産者・・当地域でのイチゴ生産組合の生産者数で確認した。

収穫量・・生産者が収穫毎に収穫量の記録を行うことで算出した。

販売額・・平成30年度分の村が管理する販売額から確認した。

加工品販売額・・平成30年度に開発した加工品の品目数によって確認した。

・所見

平成30年度の取組み状況は概ね評価できるが、目標達成に至っていない点においては、来年度以降の課題として積極的に取り組んでいきたい。